

平成三十年七月十八日提出  
質問第四七六号

地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進に関する質

問主意書

提出者 城 井 崇

476

地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進に関する質

#### 問主意書

これまで、北九州市は、公害克服の経験から培ってきた市民力、ものづくりの技術を活かし、「低炭素社会づくり」を目指した「環境モデル都市」や、「環境」「社会」「経済」の三側面の課題解決を目指す「環境未来都市」をはじめとする取組を行ってきた。

平成二十九年には、相手国のニーズに応じた環境保全等の「環境国際協力」や、官民のパートナーシップによる水ビジネス等の「環境国際ビジネス」、地域課題の解決等を目指した「自治会やESD（持続可能な開発のための教育）の取組」など、北九州市が将来のために独自に取り組んできた取組みが、世界共通の目標となった持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するという評価を受けて、政府の持続可能な開発目標（SDGs）推進本部が創設した「第一回ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞したところである。

また、平成三十年四月には、OECD（経済協力開発機構）が、持続可能な開発目標（SDGs）推進に向けた世界のモデル都市として、アジア地域で初めて、北九州市を選定した。

地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組を推進させるためには、市民や企業の参画を促進するための具体的な手法や、財政面をはじめ幅広い支援制度の構築が必要となる。

そこで、地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進について、以下質問する。

一 地方創生をさらに促進させるために、地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組を推進する地方公共団体に対して、政府は財政支援措置をはじめ、より一層の継続的な支援を講じるべきであると考えます。政府の認識を明らかにされたい。

右質問する。